

モーリタニア

主要データ

国名(英名)	モーリタニア・イスラム共和国(Islamic Republic of Mauritania)
面積(km ²)	1,030,700
海岸線延長(km)	754
人口(百万人)	3.4(2008年7月推定)
人口密度(人/km ²)	3.3
GDP(US\$)	2,756
一人当り GDP(US\$)	2,000
一人当り銅使用量(kg/人)	N/A
主要鉱産物: 鉱石(千 t)	N/A
主要鉱産物: 地金(千 t)	N/A
鉱業管轄官庁	鉱工業省(MMI=Ministry of Mines and Industry)の MCU 局(The Mining Cadastral Unit)
鉱業関連政府機関	地質調査所 (OMRG=Office Mauritanien des Recherches Gologiques)
鉱業法	Mining laws、Mining Code
ロイヤルティ	N/A
外資法	N/A
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	N/A
鉱業公社	N/A
鉱業活動中の民間企業	First Quaantum Minerals 社、Redbank Mining 社(加)
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2007年のトピックス	・2006年 Guelb Moghreïn 銅・金鉱山の商業生産に引き続き、2007年7月には Tasiast 金鉱山が開山した。

1. 鉱業一般概況

モーリタニア鉱業は、現在、鉄鉱石の生産・輸出が外貨獲得の約半分を占め、GDPの約1割強を占めている。今後、オフショアの Chinguetti 油田からの石油生産や Guelb Moghreïn プロジェクト等からの金・銅の生産により、外貨獲得の急増が見込まれている。

金属鉱業では、First Quaantum Minerals 社が80%出資し操業している IOCG 型(Iron Oxide Copper Gold)の Guelb Moghreïn 銅・金山は、埋蔵量23.7百万t、品位 Cu 1.88%、Au 1.4 g/t が確認され、2006年10月に商業生産を開始した。また、2007年7月に Tasiast 金の生産が、Redbank Mining 社(加)により開始した。

2. 鉱業政策の主な動き

モーリタニアは、2005年8月に、自由と民主主義を獲得することを目的とし、軍部の政権掌握による政権交代が起こり、以来、民主主義の本格的な導入に努力を重ねてきたが、2008年8月に、再び、軍事クーデターが発生した。

2007年における主要な動きはない。

なお、現在有効な関連法令については、2007年度版鉱業の趨勢をご参照ください。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

非鉄金属の統計データの実績なし。

4. 鉱山会社活動状況

特になし。

5. 鉱山・製錬所状況

鉱山生産状況

(単位：千 t)

鉱山名	鉱種	権益 (%)	生産量		備考
			2006年	2007年	
Guelb Moghreïn 銅/金鉱山	銅	First Quantum Minerals 80%、 Guelb Moghreïn Mines D' akjoujt Sa (GEMAK) 20%	5.03	28.76	2006年7月生産開始 金については単位：t
	金		0.01	1.86	
Tasiast 金鉱山	金	RED BACK MINING 100%	-	0.65	2007年7月生産開始 単位：t

出典：First Quantum HP、Raw Materials Data



モーリタニア操業鉱山位置図

6. 我が国との関係

特になし。

7. その他トピックス

2008年8月6日に軍事クーデターが発生し、アブドライ大統領とワゲフ首相が拘束された。このクーデターによる鉱業への影響は明らかになっていない。

(2008. 8. 7/ロンドン事務所 竹谷正彦)